

## 研究に関する情報公開

福島県立医科大学泌尿器科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2022年9月 福島県立医科大学 学長 竹之下誠一

福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座 片岡政雄

### 【研究課題名】

MRIによる尿道括約筋-尿道支持機構の解剖学的・機能的評価によるロボット支援前立腺全摘除術後の尿失禁メカニズムの解明

### 【研究期間】

2022年9月～2024年12月

### 【研究の意義・目的】

当科では、前立腺癌に対してロボット支援前立腺全摘除術を年間約80-90件施行しています。また、術前には前立腺癌の局在や解剖学的位置関係を把握するために骨盤部MRI検査を行っており、また術後9か月目にも局所再発や骨転移、リンパ節転移の確認のためにMRI検査を行っています。

今回の研究では、これまでに当科にて行われたロボット支援前立腺全摘除術の前後に施行されたMRI検査結果にて骨盤底筋群の評価を行い、術後の尿禁制との関連性を後方視的に評価します。そして骨盤底筋群の中のどの筋群が術後の尿禁制と関連しているかを同定することで、術中の筋群の温存や補強などの介入の有用性や、骨盤底筋トレーニングの際の指導にも活用できる可能性が考えられます。その結果、将来的に前立腺全摘除術後の尿失禁を減らすことが可能となり、患者さんの生活の質を改善や、患者の社会参加を促進などで貢献できると考えられます。

### 【研究の対象となる方】

2013年から2021年に当院で前立腺癌の診断でロボット支援前立腺全摘除術を受けられた患者さんを対象としています。

### 【研究の方法】

これまで術前には前立腺癌の局在や解剖学的位置関係を把握するために骨盤部MRI検査を行っており、また術後9か月目にも局所再発や骨転移、リンパ節転移の確認のためにMRI検査を行ってまいりました。また術後のMRIはcinemRIを撮像しており、安静時と腹圧負荷時の骨盤底の動的变化を捉えてまいりました。これらのMRIで術前後の骨盤底筋群の変化や安静時と腹圧負荷時の骨盤底筋群の変化を計測し、術後1, 3, 6, 9, 12か月目に行われた排尿や尿失禁の検査、排尿や男性機能についての質問票から得られたデータを用いて、骨盤底筋群と排尿、尿禁制についての影響について統計学的に解析を行います。

### 【研究組織】

研究責任者	(所属)	泌尿器科学講座 (氏名)	片岡政雄
研究分担者	(所属)	泌尿器科学講座 (氏名)	赤井畑秀則
研究分担者	(所属)	泌尿器科学講座 (氏名)	佐藤雄一
研究分担者	(所属)	泌尿器科学講座 (氏名)	秦淳也
研究分担者	(所属)	泌尿器科学講座 (氏名)	胡口智之
研究分担者	(所属)	泌尿器科学講座 (氏名)	星誠二

### 【他の機関等への試料等の提供について】

該当しません。

**【本研究に関する問い合わせ先】**

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1  
公立大学法人福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座 担当 片岡政雄  
電話:024-547-1316 FAX: 024-548-3393  
E-mail:masaoka@fmu.ac.jp

**【試料・情報の利用を望まれない場合の連絡先】**

試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

〒960-1295 福島県福島市光が丘1  
公立大学法人福島県立医科大学医学部泌尿器科学講座 担当 片岡政雄  
電話:024-547-1316 FAX: 024-548-3393  
E-mail:masaoka@fmu.ac.jp